

平成30年度 第1回美里町総合教育会議議事録

招集期日	平成30年5月29日(火)
招集場所	美里町役場 201会議室
開会閉会	開会 午後1時30分 閉会 午後2時47分
出席者	構成員：原田町長、南教育長、岡本委員、堀内委員 横関委員、櫻井委員
欠席委員	なし
説明のために出席した者	庶務関係：木村総合政策課長、萩原主査 丸山教育委員会事務局長、江森主席指導主事 高橋指導主事、齊藤主査
議題 (次第)	1 開会 2 挨拶 3 議題 (1)平成29年度実施 Q-U結果について (2)意見交換 4 その他 5 閉会
配布資料	次第 平成29年度実施 Q-U結果について 参考資料美里町総合教育会議運営要綱
傍聴人	0 人
その他 特記事項	
会 議 の 経 過	
発言者	発言内容・決定事項
事務局 (総合政策課長)	<p>こんにちは、本日はご多用の中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。本日、司会を務めさせていただきます、総合政策課長の木村です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>これより、平成30年度第1回美里町総合教育会議を開催いたします。</p> <p>まず、資料の確認をお願いいたします。お手元に【次第】、【平成29年度実施 Q-U結果について】、参考資料と記載された美里</p>

	<p>町総合教育会議運営要綱】を配らせていただきました。不足などはございませんでしょうか。</p> <p>それでは、次第に沿いまして会議を進めさせていただきます。</p> <p>開会にあたりまして、原田町長からご挨拶をお願いします。</p>
町長	<p>皆さんこんにちは。本日はお忙しい中、出席いただきまして、ありがとうございます。今回は、Q - U検査の結果について報告させていただきます。昨日、町村会の首長の集まりの中で、神川町にQ - U検査の導入を、上里町には2回の実施を提案しました。本庄市は導入されていますので、児玉郡市全体でレベルアップし、可視化できればいいと思います。</p> <p>今年度、中学1年生が2クラスになったことに対応するために、美里町では、中学校の学習支援員を増員いたしました。小さな町の子どもたちでも、世界に出て自分を試せるような力を育むため、教育には厚い支援を行っていきます。そして、その児童・生徒が美里町に帰ってきてくれるといいなと考えています。</p> <p>話は変わりますが、松久小学校は昭和49年に建築され、すでに45年がたちました。町内の小学校は、老朽化が進んでいる状況にあります。加えて、この3月に国勢調査をした5年ごとの推計結果が、国立社会保障・人口問題研究所から出ました。美里町の0歳から14歳の平均を見ると2030年が約69人、2035年が63人、2040年が59人、2045年が54人です。一概には言えませんが、校舎の耐用年数の節目を70年とすると、残り25年です。ここ数年のうちにある程度の方針を打ち出さなければならぬと考えています。</p> <p>エアコンの設置など、必要な対応や改修は、現在、進めてはいますが、少なくとも15年から20年の間には、次のリニューアルが必要になる状況です。町内3小学校を改修しつつ、校舎や施設、設備を維持していくのがいいのか、それとも統合小学校とする方がいいのか。ここ数年のうちに結論を出さなければいけないと考えています。</p> <p>既に大規模改修から数年が経っています。少なくとも10年から15年の間には、3小学校を合わせて通常クラス2クラスの児童数になっていくと予想しています。そうすると、1学年が80人以下で2クラスになるとなりますので、小学校を一つに統合し、町として特色のある教育を推進していけないかと考えています。</p> <p>小学校の統合には、メリット・デメリットがあると思いますが、町民の方々に議論していただければと思います。</p>

	本日はよろしくお願ひします。
事務局 (総合政策課長)	ありがとうございました。 それでは、美里町総合教育会議運営要綱第5条により「会議は、町長がその議長となる。」と規定されておりますので、議事進行を原田町長にお願いいたします。
議長 (原田町長)	それではしばらくの間、進行させていただきます。よろしくお願ひいたします。 それでは、議事録署名人の選任ですが、美里町総合教育会議運営要綱第9条第2項により、私が2人を指名することになっております。署名する方は、南教育長と岡本教育長職務代理者にお願いいたします。 議題に入らせていただきます。議題(1)平成29年度実施 Q - U結果を議題といたします。事務局より説明願ひます。
事務局 (教育委員会事務局指導主事)	<u>資料</u> 「平成29年度実施 Q - U結果について」を基に説明
議長 (原田町長)	ただいま、「平成29年度実施 Q - U結果について」に関する説明がありました。町内小・中学校では、どのような傾向が見られましたか。
事務局 (教育委員会事務局指導主事)	全体的に満足度は上がっています。特に松久小学校は、伸びが顕著でした。また、学級崩壊が心配されるようなクラスは無いと思われれます。
事務局 (教育委員会事務局主席指導主事)	Q - U結果に基づきまして気になる学級等がある場合は、指導主事から各学校長を通じ、状況の確認と必要な指導の依頼をさせていただきます。 Q - U検査を行い、結果に一喜一憂するのではなく、「結果を学級運営の改善に反映する」という意識をもつように指導しております。
議長 (原田町長)	委員の皆様から何かご質問やご意見等がありましたらお願いいたします。
横関委員	過去に中学校が荒れていた時期がありましたが、その時にこのQ - U検査があれば、いくらかは改善ができたのでしょうか。
南教育長	Q - Uというのは人間ドックと同じでございます。病気が深刻になってから人間ドックに行っても意味がないのと同じで、学校が荒れている状況の中でQ - Uをやっても、意味がございません。落ち着いているよい時だからこそ、Q - U検査をやって、さらに充実した学級経営に努める。

	今、この時期の美里町でやることで効果があります。ちょっと荒れてくると、Q - Uをやっても意味が無くなりますので、今、実施できることがとても素晴らしいと思います。
議長 (原田町長)	当時のことで、私が聞いているのは、小学校から学級の状態が厳しかったということです。その子ども達が、そのまま中学校に上がっていったということから、「小学校の段階から対応しなくてはいけない」と感じました。
岡本委員	小学校低学年からの発達段階の積み重ねですね。
堀内委員	過去の中学校が荒れていた時期に戻ってはいけないという意識が現在の中学校の先生方にあると思います。
議長 (原田町長)	私もそう思います。
事務局 (教育委員会事務局 主席指導主事)	<p>Q - U検査を小学校4年生から中学校3年生までやる意味については、今までは教師の感覚的な部分でしか捉えていなかったものを、Q - U結果として、数値化し、子どもたちの状況を客観的に判断でき、1回だけでなく年2回検査を実施することにより、先生方が学級経営の改善に力を入れるポイントが分かります。また、4年生から6年生まで継続的に見ていくことで、学年全体の傾向が見えてくると思います。</p> <p>現在、中学では、先行的に研修を進めた結果、先生方のQ - U検査に対する理解が進んでいます。小学校もそれに追いつかなければいけない状況です。昨年度から各3校の小学校の先生方を対象に、初級研修を開催しました。また、今年の夏も継続して3小学校のすべての先生方を対象に研修を実施する予定です。</p>
議長 (原田町長)	平成28年までは、中学は年1回だけ実施しましたが、このような分析があることが分かったのは、早稲田大学の本田教授が来てからですか。
事務局 (教育委員会事務局 指導主事)	そうです。アンガーマネジメントの指導で本田先生に来ていただいた時、アンガーマネジメントとQ - Uの相関等を中学校で研修していただき、更には、男子と女子に分けて分析することも教えていただきました。
岡本委員	<p>このQ - U結果を分析されるのは専門の方なのですか。</p> <p>また、資料中、学級満足群増減の考察に、「1. 小学校では上昇傾向」、「2. 中1では年度当初の期待度が高い」、「3. 中3で回復傾向をみせる」、つまり、1回目の調査では中1は期待感があつたけれど、2回目の調査では期待が大きく減ってしまったということですか。</p>

事務局 (教育委員会事務局指導主事)	業者からは、先ほど説明に使用した図等に処理されてきます。 また、学級満足群が中1の2回目の検査で落ち込むことについては、中学校生活が期待はずれというよりは、夢を持って中学校に入ってきましたが、勉強が思いのほか難しいとか、部活をやって感じた困難さを反映した結果だと思えます。
岡本委員	学級満足群の回復傾向を示す中3の生徒を高校入学時に調査をしたとすると、ぐっと上がる場合もあれば落ちる場合もあるということですか。 中1の1回目の検査で学級満足群が高かったが、2回目で数値が落ち込んだという状況を押さえながら、中学3年の後半に先生方が進路に希望をもたせるような指導をするためにも参考になるのではないですか。
事務局 (教育委員会事務局指導主事)	そのとおりです。 2回を比較することで見えてきたことを教員が知っておくこと、中1で下がってしまった訳ではなく、そういう傾向があるからこそ、それを踏まえて指導していくことが出来ます。 現在は、若い先生も増えてきていますので、経験だけではなく数値をみて分かることもあります。
堀内委員	中学1年生ですが、クラスによって偏りはありましたか。
事務局 (教育委員会事務局指導主事)	多少はありましたが、中1については、全体的には同じような結果でした。
事務局 (教育委員会事務局指導主事)	中1ギャップといわれて、小6から中1の全国平均では、少し学級満足度が下がる傾向がありますが、美里町の場合は逆に数値が上がっています。全国とは違う傾向があると感じています。 小学校から中学校へ希望を持って進学しているといえると思います。確かに1年生後半から学級満足度が落ちていますが、2年生、3年生で回復基調となっているのは、先生方のいい指導につながっているのだと思います。
議長 (原田町長)	本庄市も実施していますが、情報交換等を実施しているのですか。
事務局 (教育委員会事務局指導主事)	実施しておりません。 郡市内で情報交換できるのであれば、比較することで特徴がわかると思います。
岡本委員	中学校のように1学年が100人程度であっても、当初学級満足

	群にいた子が、2回目で不満足に行ってしまったときには、すぐにその対応ができるということですね。その対応は、担任の先生だけでなく、多くの先生方が対応の仕方を検討することになってくるのですか。
事務局 (教育委員会事務局指導主事)	そういう子に対しては、担任だけではなく、全員でその子にどのような支援をおこなうのかを検討します。
南教育長	複数の目で見ることが出来るということです。
事務局 (教育委員会事務局指導主事)	学級崩壊に陥る心配があることを知ることが出来ます。 起こってからではなく、ちょっと心配だという傾向が見え、初期の段階で対応できるということです。
議長 (原田町長)	Q - U結果は、感覚的に見ていたものが、客観的な数値で見ることが出来るようになったということです。
事務局 (教育委員会事務局指導主事)	Q - U結果は、予想通りの結果になっている場合もありますし、教師の感覚として、満足していると思われる子が、実は満足していない結果が出ることもあります。その子に合ったサポートをすることが出来ます。
議長 (原田町長)	小4から中3まで継続することで、一人ひとり追跡することも出来ます。
事務局 (教育委員会事務局指導主事)	そのためにも小学校のデータを中学校に送っています。
議長 (原田町長)	是非、本庄市教育委員会と意見交換をして、良いところは真似して欲しいと思います。
事務局 (教育委員会事務局指導主事)	研修会に郡内の教員が自由に参加してよいとなれば、将来的には、研修会の費用も抑えることが出来ると思います。
堀内委員	検査の結果を見る方法を学ぶことよりも、子どもたちへの指導の改善に使うことの研修をしていただきたいと思います。
議長 (原田町長)	昨年、指導主事が入力するとプロットできるシステムがあると聞きましたが、活用しているのですか。
事務局 (教育委員会事務局指導主事)	現在も活用しています。 男女別の分析などは、業者からもらったものではありませんが、このシステムに入れると、赤と青に色分けしてプロット図が出来ます。

議長 (原田町長)	<p>「5つの必要な能力」というのを業者が出しているのだから、相談すればそれを伸ばすための研修とかが出来るのではないのでしょうか。聞いてみてください。</p> <p>他にご質問等はありませんか。</p>
横関委員	<p>この様な調査が出来る業者は全国に何社あるのですか。</p>
事務局 (教育委員会事務局指導主事)	<p>おそらく、1社だけだと思います。</p>
議長 (原田町長)	<p>他にご質問はありますか。</p> <p>無いようでしたら、議題の(2)意見交換に移りたいと思います。</p> <p>何かご意見等がありますか。</p>
岡本委員	<p>町長のあいさつにもありましたが、3つの小学校について、ゆくゆくは統廃合を考えなくてはならないと話されましたが、その中で今後10年20年と子どもが少なくなる中で、学校へ通う方法について、遠方であってもバス等で通えるとする、学校から離れていても通学が出来ると思いますが、どのようにお考えでしょうか。</p>
議長 (原田町長)	<p>徒歩通学として、3km程度が限度ではないかと思います。どこか集合地点を決め、そこからバスを出すことになるのではないかと考えています。</p> <p>例えば、松久小学校区に学校をつくるとすると、東児玉小学校区の小茂田や沼上、大沢小学校区は、徒歩通学は無理であろうと思います。</p> <p>また、人口を増やすことについては、美里町は、全域が農業振興地域で農地から宅地への転用が難しいです。その中で、集落の中にある農地を積極的に宅地に転用出来れば良いと思います。</p> <p>例えば、松久小学校の周辺は、白地といわれる農地転用が出来る土地で、近年ある程度宅地化しているので、子どもたちの数も高止まりで安定しています。過去の傾向を見ますと、小学校に上がるまでに約10人前後が帰ってきています。小学校は自分と同じところに入学させたいと思う親が多いのではないかと感じています。</p> <p>まちづくりの観点から、町外から人を連れてくることは至難の業です。他町と比べても美里町は0から14歳までの子どもたちの人数を維持できていて、まだ条件はいいのではないかと思います。それでも、小学校3校を維持するのは難しいです。</p>
南教育長	<p>統合問題につきましては非常にデリケートなものがございます。</p>

	<p>おそらく長寿命化計画を策定する段階で、総合的な観点から検討していく必要があるのではないかと思います。</p> <p>また、教育委員会定例会でそういう話題を出していければと思っています。はっきりとした人口の推移がわからない現時点では、難しいところがあります。</p>
議長 (原田町長)	<p>実際、子育てするのに一番考えるのは高校・大学です。高校までは私立のバス通学が主流となっています。特に私立高校への進学率は3分の1だと聞いています。しかし、その先の大学へはどのように行くのかが少し難しいです。</p> <p>町にも県立高校の生徒から、もう少しバスを早く出して、遅くまで運行して欲しいという要望があります。しかし、そのような対応をとるには、現在の職員に加え、もう一人運転手が必要になりますので、費用などにより難しいようです。</p> <p>人口を増やすことは難しいですが、町の魅力をどうやって出すのか、自然と野山を活用していくのがいいと考えています。</p> <p>例えば、県の事業で里山の下刈りをしてはいますが、その後の管理が出来ない状態です。管理を都会の人たちが行き、竹の子を持って帰れるような取り組み。竹が生えてきた里山の再生に関する指導を町が行い、「春先に竹の子が生えたら掘って帰っていい。」というような事をするとおもしろいと思います。</p> <p>その他、転入者については農地付住宅として、1アールから農地の取得を認めようと考えています。</p>
議長 (原田町長)	<p>中学が2クラスになって何か変わった点はありますか。</p>
事務局 (教育委員会事務局 主席指導主事)	<p>必要な教員数は確保しております。中学校のクラス数は、現在の1年生が卒業するまでは、このままです。</p> <p>現在の小学校4年生が中学校に入学する時点で、各学年3クラスになります。</p>
南教育長	<p>中学校の教員数は、学級数に対して、決められております。平成30年度は、中学校の教員が2人減という状況がありましたので、学習支援員を1人増員していただきました。その後、3月中旬に県から、加配教員として、1名を増員していただきましたが、これは単年度の約束で、平成31年度以降も続く訳ではありません。</p>
岡本委員	<p>大沢小学区は、児童数が増えています。この要因はどのようなことですか。</p>



事務局 (教育委員会事務局指導主事)	美里町から出た人が、子どもが小学校に上がるときに、実家のある美里町に戻ってきたということだと思います。
議長 (原田町長)	土地が安いので宅地が供給できれば増えるのですが、なんとしても農地転用が厳しいことに加え、所有者が土地を手放さない状況があります。インターが開通して産業団地があと2年くらいで稼働し始めると、少し様子が変わってくると思います。
岡本委員	人口を減らさないようにするためには、転出した若者が美里に帰ってきてくれるような施策を考える必要があるのではないですか。何か創造できるような会社、そこで楽しく働けるような職場がないとなかなか定着しにくいと思います。
議長 (原田町長)	若者が働きたいと思える社会環境をつくるのが大事ではありますが、かなり難しいと思います。帰ってきてここで子育てをしたいと思えるような地域でありたいと思います。
岡本委員	<p>教育長がよく言っている、むし歯ゼロですが、中学校もゼロ宣言をしました。保護者の考えで歯科医院に行くことになると思います。</p> <p>むし歯を治療する事の重要性を保護者の方に分かっただき、むし歯の完治率を高くすることで子どもの育成に大きなプラスになると思います。</p>
議長 (原田町長)	<p>美里町ではライオンをお願いをして、歯磨き大会に毎年参加しています。大会に参加することで、歯を磨く習慣や磨き方を学んでいます。</p> <p>去年の結果はまだ出ていませんが、前年の「町村別12歳児一人平均歯数」は、県で良い方から6位でした。</p> <p>他に意見等ございませんか。無いようでしたら、進行を事務局にお返しします。</p>
事務局 (総合政策課長)	<p>皆様には、慎重審議ありがとうございました。</p> <p>次に、次第の4番、その他でございます。事務局からの議題は用意しておりませんが、今年度もう1回総合教育会議を予定させていただきます。内容を調整し準備が整いましたら通知させていただきます。</p> <p>他に、何かありますでしょうか。</p> <p>無ければ、以上をもちまして、総合教育会議は終了といたします。ご協力ありがとうございました。</p>

上記のとおり相違ないことを認めます

議事録署名人

町 長 \_\_\_\_\_

委 員 \_\_\_\_\_

委 員 \_\_\_\_\_